

報告

第3回 G-COE エネルギー・セミナー

ー中国の環境問題と大連理工大学の取り組みー

主催：京大エネルギー科学 G-COE 協力：NPO 法人 シンビオ社会研究会

日時：平成 21 年 3 月 2 日（月） 13:30～17:30

場所：京都大学工学部 2 号館 2 階 201 号室

参加者：約 30 名

プログラム：

開会の辞 エネルギー科学 G-COE リーダ 京大エネルギー科学研究科長 八尾 健

I. エネルギー科学 G-COE 全体紹介 京大エネルギー理工学研究所 大垣 英明 教授

II. 中国での汚水処理技術の現状 大連理工大学環境・生命工学院 Prof. Xie QUAN

III. 中国の環境問題について 大連理工大学環境・生命工学院 Prof. Aimin LI

IV. 大連市の都市環境計画について 大連環境保護局 Prof. Xiuqing HUA

V. エネ科研究活動紹介 京都大学大学院エネルギー科学研究科 東野達 教授

VI. 環境マネジメントリーダー拠点形成紹介 京都大学大学院地球環境学堂・学舎 教授
藤井滋穂 拠点長

VII. 京大 G-COE：アジアメガシティの人間安全保障工学拠点紹介 京都大学工学研究科都市
工学専攻 教授 清水芳久

閉会の辞

報告記事

隣国の中国は、我が国の 26 倍の国土に 15 億余の人口を抱える大国で、その最近の発展は目覚しく、今や経済でも日本を抜いて世界第二の GNP 大国となった。最早、中国抜きで 21 世紀の炭酸ガスゼロエミッションシナリオを構想できない。

大連は中国東北三省の玄関として日本とは歴史的につながりの深い都市である。大連は中国の環境モデル都市に指定されているが、急激な経済発展の反面で様々な環境問題を抱えているようである。そこで京大エネルギー科学 G-COE の支援で標記の G-COE エネルギー・セミナーを中心行事として、平成 21 年 3 月 1-5 日の日程で大連理工大学はじめ大連からの

訪問団を招聘した。

招聘した大連からの訪問者は、大連理工大学環境・生命工学院の Prof. Xie QUAN、Prof. Aimin LI および大連環境保護局 Prof. Xiujing HUA の 3 名である。当初は本計画に大連側で協力いただいた孚源投資顧問有限公司（代表李 徳衡 氏）の世話で大連の企業関係者 4 名も同行予定のところ経営事情で突然のキャンセルになった。その他にもビザ取得が間に合わず大連企業関係者が参加できなかった。

大連からの訪問団の希望は、大連理工大学においては 学生研修派遣の京大受け入れ、エネルギーおよび環境問題研究に関する教員相互派遣、日中間の産官学連携事業のための大連理工大学における「交流センター」設置に対する調査、大連環境保護局においては京都府や京大との大連市環境プロジェクト等への交流調査を目的としていたため、これらに对应するために、招聘者の全体日程は以下のとおりであった。

3 月 1 日（日）大連発 関西空港経由 京都着 エルインホテル 泊

3 月 2 日（月）京大エネ科訪問

午前 京大 GCOE メンバーとの情報交換

午後 第 3 回 G-COE エネルギー・セミナー 参加

3 月 3 日（火）午前 イタリア会館 2 階京大産学連携本部 牧野 教授訪問

京大留学生センター 森 教授以下 訪問

午後 京都水道局 琵琶湖疏水記念館および蹴上浄水場見学

3 月 4 日（水）自由行動

3 月 5 日（木）京都発 関西空港経由 中国（大連）帰国

とくに 3 月 2 日午後の第 3 回 G-COE エネルギー・セミナーは公開にして方々に案内のところ、京大内だけでなく京都府庁、舞鶴市役所、向日市役所の関連担当の方や大阪大学、民間研究所の研究者など多数の参加があった。また 3 月 3 日午後の琵琶湖疏水記念館および蹴上浄水場見学では琵琶湖疏水記念館の井垣館長に親しく案内を頂いた。120 年前日本が開国後 20 余年の段階（中国では清末の西太后独裁時代）で京都市が世界でも先端の土木工事を独力で敢行したことに大変感銘を受けたと感想を述べていた。

これを契機に大連理工大学と京大 GCOE 連合とでエネルギー環境問題の教育研究での協力が発展するとともに、大連市環境保護局を介して大連市環境改善への技術協力が進むことを期待している。（吉川 榮和：記）



第3回京大エネ科 GCOE エネルギーセミナー会場風景（大垣先生の GCOE 紹介）



第3回京大エネ科 GCOE エネルギーセミナー会場風景
（大連環境保護局 Prof. Xiujing HUA の発表）



京大産学連携本部 訪問（本部長牧野教授との集合写真）



蹴上浄水場見学（琵琶湖疎水記念館井垣 館長との写真）